ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.1	調査位置				北　緯	36 ° 40 ’ 20.0000 ”
発 注 機 関	栃木県日光土木事務所			調査期間	2008-03-06 ～ 2008-03-10	東　経	139 ° 42 ’ 32.0000 ”
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	268.93 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	10.33 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
1	267.43	1.50	1.50		盛土 (BS)	暗褐	緩い		上部崩壊性激しい -0.50mでφ300mmの玉石混入する土砂 1.50mまでコンクリートなど混入する 砕石（0～60mm）　含水量中位		
2 3 4	264.53	2.90	4.40		砂礫 (GS)	暗灰	中ぐらい		含水量中位　亜円角礫混在 礫径φ2～30mmが主体 礫間充填物は細～粗砂　ルーズで崩れ易い 所々40～60mm混入 2.00～3.00m崩壊激しく逸水あり 3.00～4.00でφ100mm 4.00m付近より風化礫混る・粘土帯びる		03/10 4.25
5 6 7	260.93	3.60	8.00		玉石混り粘土質砂礫 (GS-BC)	暗褐灰	非常に密な		硬く締まっている　含水量中～多い 礫径φ10～50mmが多い 亜円礫混在 4.40～5.00m間玉石掘削長　最長約5cm 5.00～6.00m約15cm 6.00～7.00m約17cm 礫種は砂岩・安山岩等混入 下部7.60～8.00m間非常に硬い硬質砂岩による玉石混入　基質部は粘土質の粗砂が多い		
8 9 10	258.60	2.33	10.33		玉石混り砂礫 (GS-B)	褐灰			硬く締まっている　含水量多い 礫径φ2～30mmが多い 亜円礫・亜角礫混在 8.00～9.00m間締まった砂分が多い　玉石1個約掘進長5cm 9.00～10.00m間風化礫混入 約6cmの玉石混入 基質部は粘土質の粗砂が主体		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N 値
1.15	3	3	3	9／30	9
1.45					
2.15	5	6	20	31／30	31
2.45					
3.15	50／9			50／9	>50
3.24					
4.15	15	11	16	42／30	42
4.45					
5.15	50／9			50／9	>50
5.24					
6.15	18	32／4		50／14	>50
6.29					
7.00	50／0			50／0	>50
7.00					
8.15	23	14	13／6	50／26	>50
8.41					
9.15	35	15／4		50／14	>50
9.29					
10.15	25	25／8		50／18	>50
10.33					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						03/06
						03/07
						03/10